



中湧別地区



全校生徒で町をきれいにしてくれました

上湧別庁舎応接室



長年にわたる消防団活動ありがとうございました

4/30

町をきれいに

湧高生が校外清掃を行いました

湧別高校の全校生徒による校外清掃活動が実施されました。

この活動は、自然や地域を大切にする心を育むために毎年実施されており、クラスごとに分かれて学校周辺や通学路のゴミ拾いを行いました。生徒の頑張りにより、たくさんのゴミが集められ、通学路などの環境維持に貢献する結果となりました。

環境美化へご協力いただき、ありがとうございました。

5/1

地域防災活動に尽力

城岡和浩さん、秋葉宏之さんに町感謝状贈呈

令和8年4月末で消防団を退団された城岡和浩さん、秋葉宏之さんに、長年にわたり消防団幹部として消防活動にご尽力いただいた功績を称え、加藤町長から感謝状が贈呈されました。

上湧別分団長 城岡和浩さん

【消防団員歴 42年10カ月】

開盛分団長 秋葉宏之さん

【消防団員歴 36年11カ月】

5/1

地域の防災を担う

湧別町消防団に2人が入団

湧別町消防団は147人が地域の防災を担う存在として、また、火災発生時には消火・警戒などの消防活動を行う地域の防災リーダーとして活躍しています。

全国的に消防団員数の減少、高齢化などの課題に直面しており、地域の防災力の低下が危惧されています。入団希望の方、興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】遠軽地区広域組合消防署

湧別出張所消防団係 Tel5-2338

上湧別出張所消防団係 Tel2-4111



芭露分団 多田雅樹さん



芭露分団 安達葉琉さん

川西のセンサイ川左岸に広がる河岸段丘上



歴史的な理解をさらに深める重要な一歩となりました

5/3

1000年前の暮らしを解明

川西オホーツク遺跡発掘調査

4月25日（土）から5月3日（日）まで、北海道大学考古学研究室による「川西オホーツク遺跡」の発掘調査が行われました。

同研究室では令和6年度からこの遺跡の調査を実施しており、今回は高瀬克範教授を含む8人で、竪穴住居跡1基の本格的な発掘調査が行われました。発掘を進めると、擦文土器のかけらや加工された黒曜石などを発見。その他に住居内の焼けた土を回収しており、土を分析することで種子や骨などが見つかり、擦文文化での食生活や暮らしの解明につながります。



5/5

チーム力の向上を図る

レバンガ北海道U15女子チームが合宿実施

レバンガ北海道U15女子チームが町内でスポーツ合宿を行いました。

今回の合宿は、選手の競技力向上と育成の充実を目的に、集中的なトレーニングを実施。さらに、共同生活を通じて規律や協調性、主体性を養うとともに、チーム力の向上を図りました。最終日には、北海道立北見体育センターで開催された「オホーツクチャレンジカップ」に参加し、実戦形式の試合を重ねました。また、ゆうべつ学園・上湧別学園合同チームとの練習試合を通じて交流を深めるなど、貴重な経験を積む機会となりました。

中湧別総合体育館



今後もスポーツ・文化活動の振興につながる合宿誘致に取り組んでいきます

5/11

3年後まで生きるホタテを育てる

稚貝放流事業開始

サロマ湖で1年間育成したホタテ稚貝を、オホーツク海域に放流する湧別漁業協同組合のホタテ稚貝放流事業が始まり、湧別漁港や登栄床漁港など町内の各漁港が早朝から活気づきました。

午前4時10分ごろ、登栄床漁港にはカゴ一杯に稚貝を積んだ船が続々と帰港していました。その後、登栄床・中番屋・丁寧・芭露・志撫子の各地から湧別漁港にトラックで運ばれてきた稚貝は手際よく放流船に積み込まれ、第38ゆうべつ丸を筆頭に湧別漁港を出港し、オホーツク海に勢いよく撒かれていました。

登栄床漁港



3年後に立派に成長したホタテの水揚げが楽しみですね

5/12

新1年生に安心を

交通安全協会が自転車用ヘルメットを贈呈

湧別町内の義務教育学校で、遠軽地区交通安全協会湧別支部による自転車用ヘルメットの贈呈式が行われました。

この活動は、昨年に湧別地区と上湧別地区の交通安全協会が合併したことをきっかけに開始され、今年で2年目を迎えます。

贈呈式では、柴田洋幸副支部長が「交通ルールを守って楽しく自転車に乗ってください」と呼びかけながら、町内の新1年生43人全員にヘルメットを手渡しました。

ゆうべつ学園



地域ぐるみの交通安全対策として、今後も継続的に実施される予定です

5/12

子どもたちに地元の食材を

寺本商店寄贈の冷凍ホタテ貝柱を使った給食が提供

学校給食に、ホタテを使用した「あんかけ焼きそば」が提供されました。このメニューには、4月3日に寺本商店から町へ寄贈いただいた冷凍ホタテ貝柱がたっぷりと使われています。

ホタテの旨みがたっぷり溶け込んだ給食は児童たちに大人気で、次々と完食しておかわりを求める子どもたちもいました。給食は、子どもたちにバランスの良い栄養を提供するだけでなく、地域の特産物を知ることや、自然の恵みの大切さを伝える重要な食育の役割も果たしています。

上湧別学園



寄贈いただいたホタテは、年間を通じて給食に活用させていただきます



ホームページでは随時まちの話題を掲載しています



コミュニティスペース「Wacha!」



今後もオレンジカフェは月1回、年間を通じて開催する予定です

5/13 新たな交流の場に オレンジカフェを開催

地域の皆さんが気軽に楽しみながら、情報交換や高齢者福祉について相談できる場として、オレンジカフェが開催されました。

「オレンジ」は温かさ・希望・手助けを象徴する色で、このカフェは湧別・中湧別・上湧別・芭露地区のそれぞれで開催しています。参加者は、コーヒーを飲みながら談笑したり、介護予防を目的としたレクリエーションを楽しみながら、ケアマネージャー、生活支援コーディネーター、保健師などの専門職が近況を伺いました。

5/13 三里浜キャンプ場湖岸 5/16 三里浜の海岸沿い



2日間で約150人が参加しました

5/13・16 北海道の海をきれいにしよう 北海道SDGs推進プラットフォームが清掃活動

北海道SDGs推進プラットフォーム（事務局 生活協同組合コープさっぽろ）主催による「Hokkaido海のクリーンアップ大作戦！」が行われました。

今年で6回目となったこの活動は、深刻な海洋汚染の要因となっている海洋流出ごみを減らすために、できることから始めようと道内46カ所を予定して行われており、組合員や有志の方が集まり、昨年に引き続き13日には三里浜キャンプ場湖岸、16日には三里浜の海岸沿いのごみを拾いきれいにしました。

上湧別百年記念公園 駐車場横広場



「おいしかった。また食べたい!」と好評でした

5/16 湧別の特産品が大集結 ゆうべつうまいもん祭り

湧別町産業間ネットワーク主催の「ゆうべつうまいもん祭り」が開催されました。

ホタテの浜焼きや湧別牛ステーキの鉄板焼き、チガイのわかるカレーなど、湧別ならではの特産品を販売。ヨーヨーすくいのコーナーもあり、子どもも大人も楽しめるイベントとなりました。

販売開始から長蛇の列ができるほどの盛況ぶりで、湧別牛やチガイのわかるカレー、牡蠣の炊き込みご飯が見事完売。湧別の魅力を味わう貴重な機会となりました。

五鹿山公園周辺



参加された皆さまに、心より感謝申し上げます

5/21 町をきれいに 湧別建設業協会・管工事組合が地域貢献活動

湧別建設業協会（森谷和洋会長）と湧別管工事組合（長谷川晴夫組合長）による清掃活動が行われました。この活動は地域貢献の一環として毎年実施されており、今年は約45人が参加しました。

気温が低く肌寒い天候の中、参加者の皆さんは沿道に散乱したごみを中心に約1時間の清掃活動に取り組み、短時間で袋がいっぱいになるほどのごみが集められました。今年も不法投棄されたごみが目立ちましたが、清掃活動を通じて道路の適切な維持管理に大きく貢献いただきました。

たくさんのご来園ありがとうございました

2026ゆうべつチューリップフェア



5月1日から始まったチューリップフェアも、おかげさまでもちまして大勢の皆さまにお越しいただき、5月31日に閉幕しました。

今年のフェアは、「半崎美子ミニライブ・トークショー」ほか、町内の団体による協賛イベントが園内で催され、町内外から多くのご家族連れやお友達同士などで賑わいました。

また来年もお待ちしています。



吹奏楽演奏 5/24

義務教育学校、湧別高校による吹奏楽演奏。



湧青協イベント 5/17



えんゆう農協牛乳無料提供 5/17

半崎美子 ミニライブ・トークショー 5/23

湧別町のイメージソング「春を受け継ぐチューリップ」をはじめとする感情豊かな歌声に、多くの来場者が感動し心を揺さぶられました。



お詫び と訂正

広報ゆうべつ2026年5月号3ページ「2026ゆうべつチューリップフェア」に記載の、初お目見えの品種に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

誤：「ジュテーム」など14品種… 正：「ティラミス」など18品種…